

呼吸器外科を受診している患者さんへ

当院では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され、研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく、個人情報の開示を希望される場合、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

記

研究課題名	肺癌周術期における間質性肺疾患急性増悪のリスク因子に関する研究
研究機関の長（試料・情報の管理責任者）	愛知医科大学病院 病院長 天野哲也
研究責任者	（所属）呼吸器外科 （職名）助教 （氏名）勝谷亮太郎
研究の対象となる方	過去に【間質性肺疾患】と診断されており、かつ2014年1月から2022年12月までに当科で肺手術を受けた患者さん
研究期間	研究実施承認日 ～ 2025年12月31日
研究目的及び利用方法	〔研究目的〕 間質性肺疾患（ILD）患者さんにおける周術期管理、特に手術中に投与される酸素量および術前の肺機能が、術後急性増悪（AE）と関連しているか調査することを目的としています。 〔利用方法〕 本研究では、2014年1月から2022年12月に当院で肺手術を受けた間質性肺疾患（ILD）患者さんの電子カルテ情報をもとに、術前の肺機能や手術中に使用された酸素量と術後の病状悪化との関連を調べます。すべてのデータは個人が特定できない状態にしたうえで適切に管理し、統計解析に使用します。研究は倫理委員会の承認を受けた上で実施します。 〔外部への試料・情報の提供〕 非該当 〔外部への提供開始日〕 非該当
研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目	試料：非該当 情報：診療録(カルテ)から、年齢、性別、既往歴、血液検査結果、呼吸機能検査結果、画像所見、手術所見、術後経過等を収集
提供する試料・情報を用いる学外の研究責任者	非該当
試料・情報を利用する学外の者	非該当

試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への情報の利用又は提供を希望しない方は、2025 年 11 月 30 日までに郵送、窓口での受付、もしくは電話により下記問い合わせ先まで申し出てください。
外国への試料・情報の提供	非該当
問い合わせ先	愛知医科大学病院 呼吸器外科 担当者：（職名）助教 （氏名）勝谷亮太郎 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又 1 番地 1 電話 0561-62-3311（内線 22121）